

2018年9月13日

フィリップス・ジャパン、新ラインナップの電子操作式 IVUS を 9 月から販売開始

= フィリップス・ジャパンから、増加傾向にある末梢血管病変の治療に対応する、電子操作式 IVUS に新ラインナップが登場 =

株式会社フィリップス・ジャパンでは、2018年9月より電子操作式（フェーズドアレイ式）IVUS の新製品「ビジョンズ PV.014P RX」の販売を開始する。

「ビジョンズ PV.014P RX」は、IVUS（Intravascular Ultrasound：血管内超音波検査法）に用いられる末梢血管用の診断カテーテルで心臓の冠動脈や末梢血管の治療時に用いられ、血管内の狭窄箇所を詳しく観察でき、医療従事者が患者に合わせた治療法や医療機器の選択を可能にする。

「ビジョンズ PV.014P RX」はカテーテルの手元部分を太くすることで、従来品と比べカテーテルのシャフトの剛性（カテーテルの硬さ）は 50%アップし、より高いプッシュビリティ（カテーテルを押し出す力）を提供することが可能になった。

今回の新製品は、電子操作式（フェーズドアレイ式）IVUS の最大の特徴である操作のし易さ、及び高いプッシュビリティを活かし、これまでの IVUS では難渋した狭窄度の強い末梢血管病変部にも到達し、医療従事者が病変を評価することを可能にしている。また、治療後の病変の状態を IVUS で観察することにより治療の効果を定量的に評価することが可能となる。

以上